

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	・火災については「消防計画」を基に、火災を未然に防ぎ、火災が発生した際には入居者を安全に避難させる為の取り組みを行っているが、地震・水害等の自然災害時における対応計画については手つかずの状態。	・令和5年度中の義務となっている「BCP策定」を含め、早期に「台風・地震・水害等、自然災害時対応マニュアル」を作成し、「備品の準備・整備」とともに、最低1回は訓練を行う。	・施設が 海拔0m にあるので「自然災害時の他所への避難」は必須と思われる。まずは、避難場所について行政と協議する。 ・「避難経路の検討」「避難手段・職員役割の検討」 ・持出品(薬・毛布・書類、等)の確認。 ・自家発電機の購入。(食料・水は備蓄済み)	12ヶ月
2	13	・「認知症ケア」や「救急対応」等については、管理者と介護主任(准看護師)を中心に定期的に行われている「部内研修」やOJTにより職員技術の向上が見られているが、「部外研修」も取り入れ、その他の技術や意識の向上に取り組み「質の高いケア」に繋げていきたい。	・予算を確保し、最低「年間数名」は何かしらの必要な「外部研修」を受ける事ができるようなシステムを作る。	・経営、運営状況の再確認⇒「研修予算」の確保。 ・必要と思われる研修の検討、選定。 ・職員の「外部研修希望」の把握。	12ヶ月